

しゃきよう Information



- ・立佞武多観覧サービス 8/7 (水)頃
 - ・五所川原市社会福祉大会 9/28 (土)
 - ・愛の輪レクリエーション 11/16 (土)
- 詳細はお問合せ下さい。

寄付品 随時 受付中!! 五所川原子ども宅食 おすそわけ便

お米、野菜、缶詰、レトルト食品、乾めんは、支援が必要な子育て世帯の方々に特に喜ばれています。また寄付金は、不足の食料品などの購入に役立てておりますので、引き続きのご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

ありがとう

〈敬称略〉

- ### ■寄付金
- 匿名 26,455円
 - 日本道路株式会社青森合材センター (五所川原営業所) 26,794円
 - 新日本舞踊藤都流宗家藤都流善美穂 30,000円
 - 佐藤 雄太 3,000円
- ### ■物品
- 中屋敷 仁美 子供用ピアノ、ごみ袋4袋ほか
 - 東北電力ネットワーク株式会社 非常食288食
 - 明治安田生命五所川原営業所 絵本、ぬいぐるみ、衣類ほか



五所川原子ども園様
みんなの家庭から集めたエコキ
ャップを届けてくれました。

まつしま団地子ども園様
冬休み・春休みで集めたエコ
キナップを届けてくれました。

■アルミ缶・プルタブ等

- 五所川原 一戸知典、笠井達徳、金沢加奈、北澤洋子、木村キヌエ、工藤ヘナエ、齊藤真紀子、外崎きみ子、中川幸子、福士弘子、三浦トシ、米谷美智子、和島千枝、NPO法人ほほえみの会、うめたふれあいセンター、うめたグループホーム、五所川原子ども園、五所川原更生保護女性会、シルバー書道部、スズキ五所川原、田町栄町サロン、中央小学校、まつしま団地子ども園、森田養護学校、洋服の青山五所川原店
- 金 木 秋元裕子、秋谷文子、石戸谷知子、泉谷キミ子、伊藤啓子、逢坂ふたば、小野元晴、加藤洋子、木村武則、古川弘子、今知子、今美子、佐藤え子、田中豊忠、田中祐子、外崎路恵、長尾典子、長尾匠時、山本フミ子、米谷義弘、ききょう野会、県猟友会金木支部、ジャンボドライブ五所川原、友和クラブ、ライフサポート夢の森
- 市 浦 小野由紀子、三和早苗、さくらの会、市浦総合支所



いつもたくさんさんのエコキナップを届けてくれるボランティアの皆さん

■子ども宅食への寄付

- 匿名 玄米61kg
- みちのく銀行津軽中央エリア ノートほか文房具 玄米90kg
- 匿名 トイレットペーパー19個、シチュー10箱
- 匿名 トイレットペーパー30パック
- 株裕健 ひなた薬局
- 天理教西北I支部 お菓子、レトルト食品、乾麺10kg
- アサヒグループ食品 キャンディ、ポケットラムネほか1,284kg
- 株式会社みかみ商事 ぶどうゼリー40パック、りんごゼリー41パック
- 匿名 子供用品等 2.8kg
- 法永寺 飲料、お菓子、ゼリー 16kg



▲中央小学校 環境委員会様
各学年に回収箱を設置し、皆さんに回収を呼びかけました。昨年4月から約1年間で、57kgのプルタブが集まり、当会に寄付頂きました。「回収箱を集めるのは大変だったけど、どんどん増えていく度に、「誰かの役に立てる」という気持ちが大きくなりました。車椅子の購入に役立ててくれれば嬉しいと思います。」

「おがしっこ語る会ゆきん子」の皆さんが昔話を語ってくれました。温泉(生き活きセンター)に来たお客さんや語る会があることを聞き来所してくれた方は静かに聞き入っていました。(今後も毎月1回開催予定)

各種印刷物・デジタルコンテンツにおける企画・デザイン・制作から製版・印刷・製本

地域文化と価値創造の接点。

(有)アート印刷

【本社】五所川原市金山字亀ヶ岡46-7 TEL 0173(34)4487・FAX 0173(34)4459
URL http://www.artprt.co.jp E-mail net@artprt.co.jp

【つがる支店】つがる市本道千代町42 TEL 0173(42)1245・FAX 0173(42)8085

私たちは、この住み慣れた地域で、高齢になっても、障がいをもって、自分らしく、安心して、一人の人間としての尊厳を大切に暮らすに貢献します。

株式会社 五所川原ケアセンター

認知症対応型共同生活介護・認知症対応型通所介護 『高齢者グループホーム憩いの家』
小規模多機能型居宅介護 『ケアホームのりた』 『ふれあいホームいこい』
居宅介護支援 『ケアセンターいこい』

総合相談受付 TEL 34-4856 ケアホームのりた (事務本部)

社協ごしよがわら

令和6年 6月号

編集・発行/社会福祉法人 五所川原市社会福祉協議会 電話 0173-34-3494 FAX 0173-35-5855
〒037-0065 五所川原市字幾世森218番地6 URL http://gccsw.net/ E-mail gccsw@gccsw.net
■金木支所・電話 0173-53-2241 ■市浦支所・電話 0173-62-3285

五所川原ライオンズクラブ

社協へ 自動車寄贈



▲寄贈車両の前で、今一憲ライオンズクラブ会長(右)から目録を受領する乗田孝一社協会長(左)

「つながる人・場所」づくり 貧困世帯等への訪問配達 多様な住民力の結束への巡回訪問

この自動車寄贈は、今年で結成60周年を迎えた五所川原ライオンズクラブ(今一憲会長)が、その記念事業として4月20日の式典で行われました。

本会が続けてきた、子ども宅食おすそわけ便や小地域サロン活動などで、子育て世帯や高齢者世帯とのつながりづくりの一層の拡充を支援するものです。

乗田会長は、『ますます複雑化・増大している生活不安に対応するため、迅速に個別相談や要望をお聞きする訪問や、各種集会への参加と元気向上を促すレクリエーション用具の搬入出などに活用して、さらに多くの「つながる人・場所」を広げて「誰一人も取り残さない社会」づくりや、日常的にさりげなく見守られる市民の安心感の強化に「げんき号」を走り回らせる。』とお礼を述べた。



▲市民に元気を運び続ける「げんき号」! 命名に期待を込めて

基本理念

つながり広め 支え合うまち

今年度は、第3次地域福祉活動計画（基本理念＝つながり広め 支え合うまち）に基づく新たな5年をスタートさせます。基本目標を5つ掲げ、それぞれに基本計画をもって地域福祉推進に取り組んで参ります。

※第3次地域福祉活動計画は、社協のホームページからご覧になれます。

基本目標1

ともに支え合い、助け合える『地域づくり』

- ① 住民主体の地域福祉活動の推進
- ② 地域の交流の場・機会の創出
- ③ 福祉当事者団体への支援と活動連携



基本目標2

地域での支え合いを担う『人づくり』

- ① ボランティア活動の促進と支援、担い手の育成
- ② 災害に強いまちづくり
- ③ 福祉意識の醸成



「災害時に慌てない日頃の心得」

●「みんなで生きる」ため「小さな連携」から始めてみよう！

市浦地区に新築された、避難所としても使用される協元コミュニティセンターにおいて、防災研修を開催し35名の住民が参加しました。

自主防災会あおぞら組高谷津草氏を迎え、4月に行った、能登半島地震の被害を受けた穴水町や七尾市でのボランティア活動の様子や支援を受けた方々の声など、直接支援してきた高谷さんだからこそ伝えることが出来るお話が聞けました。

もしもの時のために知っておく事や災害時に慌てないために何をすべきか、まずは命を守ることが最優先。食べ物、水、薬、アレルギー対応食、やわらかい食事等、最低3日分から1週間分は必要。在宅避難か避難所へ行くか、避難所に備蓄されているものは何があるのか確認しておくこと。自助力アップのため、日頃から家族で話し合い、災害に対して同じ方向をみる。「自分の命は自分で守るんだ」の意識した行動をとることが必要。と、とても分かりやすく教えていただきました。また、防災の基本は「みんなで生きる」こと、誰も命を落とさない地域にしていけることが一番だということ。まずは、「連携」する「小さな連携」から始めてみよう！地域ぐるみで助け合えるようにしておくことが大事！！と紹介してくださいました。

また、生活支援コーディネーターの菊池義孝氏（南広田町内会長）は、週1回集会所に集まり、お茶飲みや脳トレ、おしゃべりなどで交流しているサロンの効果を紹介し、地域の住民同士のつながりの大切さを呼びかけました。

菊池義孝氏



菊池さんから紹介された脳トレ問題に苦戦する参加者



高谷津草氏



基本目標3

自分らしい暮らしを尊重する『環境づくり』

- ① 権利擁護の充実
- ② 当事者の社会参加の促進



基本目標4

複雑化したニーズを受け止める『仕組みづくり』

- ① 地域生活を支える福祉サービスの充実
- ② 安心を支援しよりそう事業の推進
- ③ 身近で相談できる体制づくり
- ④ 新たな課題に対応する取り組み

基本目標5

地域福祉活動を支える『基盤づくり』

- ① 広報・啓発活動の充実
- ② 組織体制の強化
- ③ 財政基盤の確保・強化
- ④ 指定管理者制度の取り組み



65歳からの健康づくりと社会参加「アクティブシニアポイント事業」

研修会予定/受講して登録

6月24日(月)、7月22日(月)、8月26日(月)、9月25日(水)、10月21日(月)、11月20日(水)、12月23日(月)

- ・場 所：生き生きセンター
- ・時 間：10:30~12:00
- ・会員登録には、受講が必要です。希望日の5日前までに電話等でお申し込みください。電話番号34-3494
- ・町内会や各種団体への出前研修も行っております。
- ・今後は受入施設等の見学なども考えておりますので、まだ登録していない方は、研修を受けて登録してください。たくさんの方の参加お待ちしております。



収入の部 (単位:千円)

主な収入項目	予算額
会費収入	4,562
寄付金収入	330
経常経費補助金収入	55,372
受託金収入	221,453
貸付金事業収入	500
事業収入	10,753
介護保険事業収入	233,513
事務費収入	0
障害福祉サービス等事業収入	18,977
助成金収入	688
受取利息配当金収入	1
その他の収入	950
積立資産取崩収入	0
拠点区分間繰入金収入	0
サービス区分間繰入金収入	0
収入計	547,099

支出の部 (単位:千円)

	主な支出項目	予算額
地域福祉事業	法人運営事業	9,996
	企画広報事業	3,210
	総合相談運営事業	4,000
	地域福祉事業	60,173
	たすけあい資金貸付事業	500
	生活福祉資金貸付事業	3,912
	日常生活総合支援事業	17,125
	地域における共助の基盤づくり事業	216
	ボランティアセンター運営事業	120
	共同募金配分金事業	1,830
放課後児童健全育成事業	7,397	
地域福祉事業計	108,479	
介護福祉事業	通所介護事業(高齢・障がい)	168,545
	訪問介護事業(高齢・障がい)	32,732
	居宅介護支援事業	45,603
	介護福祉事業計	246,880
指定管理運営事業	地域福祉センター管理運営事業	9,468
	養護老人ホームくるみ園管理運営事業	126,856
	金木中央老人福祉センター管理運営事業	25,108
	金木生活支援ハウス管理運営事業	13,075
	市浦生活支援ハウス管理運営事業	10,858
	生き生きセンター管理運営事業	15,292
	健康増進施設にこにこ温泉管理運営	961
	指定管理運営事業計	201,618
支出計	556,977	
拠点区分間繰入金支出	0	
サービス区分間繰入金支出	0	
支出計	0	
当期末支払資金残高	-9,878	

《社協会費について》

五所川原市民の皆様を「会員」とする社協にとって、会費(1世帯300円)のご協力は、自分の住むまちの地域課題を解決する、地域福祉事業向上の大切な財源となり、子育て世帯を支援することも宅食の実施、高齢者の居場所づくりの促進や市民の困りごとを受け止める24時間体制の相談受付等、地域の皆様の身近な活動に活用されております。是非ご協力をお願いいたします。

電気のこと暮らしのこと
お宅の困ったは「電」承ります

マルエーデンキ一番館
つがる市柏根盛幾世171 TEL 0173(27)5101

丸英設備 空調設備 給排水設備 電気工事
株式会社 丸英でんき
〒037-0056 五所川原市末広30-43 TEL 0173-35-0103

五所川原市社会福祉協議会
法人化60周年に向けて

社会福祉法人化60周年となる来年度を目前に「暮らし慣れた場所」で、家族や友人とふれあい、いきいきと暮らし続ける「ことの尊さ」と想いを再認識し、基本理念である「つながり広め支え合うまち」の実現を目指して歩みを着実に進めます。